

第64回日本核医学会学術総会  
第44回日本核医学技術学会総会学術大会

募金趣意書

2024年11月7日(木)～9日(土)

パシフィコ横浜

会議センター、展示ホールA

(神奈川県横浜市西区)

第64回日本核医学会学術総会

会長 橋本 順

(東海大学医学部専門診療学系画像診断学)

第44回日本核医学技術学会総会学術大会

大会長 森 一晃

(虎の門病院 放射線部)



# 第64回日本核医学会学術総会 開催にあたってのお願い

このたび第64回日本核医学会学術総会を主催させていただくことになりました。東海大学医学部専門診療学系画像診断学の橋本 順と申します。第64回日本核医学会学術総会は、森 一晃先生が大会長を務められる第44回日本核医学技術学会総会学術大会との共同開催により、2024年11月7日から9日まで横浜市のパシフィコ横浜会議センターならびに展示ホールAで行われます。

総会の全体テーマは“築く・繋ぐ・核医学 Nuclear Medicine -Creation and Communication-”です。いろいろな領域の方々がたがいに手を取りながら核医学を通じて新しい知見を築いていくという意味で、横浜の街を繋ぐエアキャビンモチーフにしたポスターを作成しました。

最近の核医学診療は、近未来への大きな変貌に向かって動き出した時期にあると感じています。先日、アルツハイマー型認知症の治療に疾患修飾薬が日本でも承認されたとのニュースが届きました。核医学関係者の切なる願いでもあるアミロイドPETの保険収載がいよいよ現実のものとなりつつあり、タウイメージングも含めたPETによる認知症診療の今後に大いに期待が持たれます。PET用の腫瘍イメージング剤である<sup>68</sup>Ga-PSMAやFAPI、あるいは心筋血流イメージング剤の<sup>18</sup>F-flurpiridazの高画質や優れた診断能には大変驚かされ、神経内分泌腫瘍や前立腺癌などの核医学治療も今大きく動き出そうとしています。また疾患概念の新しい展開や治療法の進歩に伴い、既存の検査の新しい可能性も注目され、例えばピロリン酸シンチグラフィによる心アミロイドーシスの診断、<sup>123</sup>I-BMIPPによる中性脂肪蓄積心筋血管症(TGCV)の診断、iPS細胞を用いた心筋再生医療のモニタリングにおける心筋血流SPECTの利用など話題に事欠きません。参加された方々がこのような核医学の新しい風を感じ取っていただけるような総会となるよう、企画に尽力したいと考えております。

日本核医学会は1964年11月に創設され、総会が開催される2024年11月で60周年を迎えます。また奇しくも会長であるわたし自身も学会と同じ1964年生まれで60歳になります。この区切りのときに核医学や学会の将来に思いを馳せ、横浜に集まって熱く語り合いたいと思います。すがすがしい秋に、美しい港町横浜でお目にかかるのを楽しみにしております。

開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2023年12月吉日

第64回日本核医学会学術総会  
会 長 橋本 順  
(東海大学医学部専門診療学系画像診断学)



## 第44回日本核医学技術学会総会学術大会 開催にあたってのお願い

時下 ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

この度、第44回日本核医学技術学会総会学術大会の大会長を務めさせていただくにあたり、ご挨拶とご案内を申し上げます。

第44回日本核医学技術学会総会は、2024年11月7日(木)・8日(金)・9日(土)の3日間、横浜市みなとみらいにあるパシフィコ横浜 会議センター/展示ホールAにて、東海大学医学部専門領域診療学系画像診断学教授の橋本 順先生が会長を務められます第64回日本核医学会学術総会と合同で開催いたします。COVID-19が5類に移行されて、人が集まる機会が多くなりましたが、全国からより多くの方々に参加していただきたく、現地に加えてオンデマンド配信を実施するハイブリッド形式で開催を予定しています。

本大会のテーマは「築く・繋ぐ・核医学 Nuclear Medicine -Creation and Communication-」としました。アルツハイマー型認知症の疾患修飾薬が国内承認されたことにより、本大会が開催される頃にはアミロイドPETの臨床利用が進んでいると思われれます。また、核医学治療薬とともにPET腫瘍イメージング剤も開発されており、Theranosticsが進むことが期待されます。こうした新しい検査や治療に対して、安心安全に実施できる技術を“築く”必要があります。そして、タスク・シフト/シェアの推進により核医学における放射線技師の役割が増していますが、多職種との強い連携“繋がり”があつてこそ成り立つものと考えます。このような思いをテーマに込めながら、参加いただく会員ならびに関連企業の皆様に満足いただけるよう準備してまいります。

開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2023年12月吉日

第44回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長 森 一晃  
(虎の門病院 放射線部)



# 開催概要

- 学会名称： 第64回日本核医学会学術総会・第44回日本核医学技術学会総会学術大会
- 会長： 橋本 順（東海大学医学部専門診療学系画像診断学）  
■大会長： 森 一晃（虎の門病院 放射線部）
- 会期： 2024年11月7日（木）～9日（土）
- テーマ： 築く・繋ぐ・核医学  
Nuclear Medicine —Creation and Communication—
- 会場： パシフィコ横浜 会議センター、展示ホールA  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
- 参加予定数： 約2,500名
- 参加対象者： 核医学・放射線関連分野に携わる臨床・基礎医師、診療放射線技師及び医師・薬学関係者、基礎研究者
- 開催計画概要： ①口述発表  
会長講演・大会長講演、特別講演、招待講演、シンポジウム、教育講演、一般講演、市民公開講座  
②商業展示  
放射線関連分野に関する機器、医薬品、書籍の展示を行う。

## 『企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針』 (透明性ガイドラインについて)

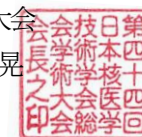
本会は、日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会の団体が定める「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針（透明性ガイドライン）」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、協賛会社による本会の拠出金額等の情報開示に同意します。

2023年12月吉日

第64回日本核医学会学術総会  
会長 橋本 順  
(東海大学医学部専門診療学系画像診断学)



第44回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長 森 一晃  
(虎の門病院 放射線部)



# I. 収支計画書

【収入】

【支出】

項 目	金 額 (円)	項 目	金 額 (円)
<b>I 参加費</b>	<b>34,380,000</b>	<b>I 事前準備費</b>	<b>21,860,000</b>
1. 大会参加費 (会員: 1,750名)	26,500,000	1. 事務局人件費	3,000,000
2. 大会参加費 (非会員: 230名)	6,520,000	2. 事前参加登録システム運用費	2,500,000
3. 大会参加費 (看護師・初期研修医等 90名)	220,000	3. プログラム処理関係費	2,500,000
4. 情報交換会会費 (380名)	1,140,000	4. プログラム集制作関係費	3,260,000
<b>II セミナー共催費</b>	<b>43,780,000</b>	5. ホームページ・抄録アプリ等制作関係費	2,800,000
1. 共催セミナー収入	38,280,000	6. その他 印刷・制作物関係費	6,500,000
2. スポンサーシップ収入	5,500,000	7. 通信・運搬関係費	300,000
<b>III 企業展示・書籍展示収入</b>	<b>6,200,000</b>	8. 準備会議費	500,000
<b>IV 広告収入</b>	<b>5,753,000</b>	9. 旅費交通費	500,000
1. プログラム集広告収入	2,893,000	<b>II 当日運営費</b>	<b>77,853,000</b>
2. ホームページバナー広告	330,000	1. 会場費	22,880,000
3. アプリバナー広告収入	660,000	2. 機材費・WEB開催関係費	15,023,000
4. Work in Progress広告収入	1,870,000	3. 会場設営費	12,350,000
<b>V 補助金</b>	<b>3,000,000</b>	4. 運営人件費	7,700,000
1. 日本核医学会 補助金	2,000,000	5. 諸会合関係費	9,000,000
2. 日本核医学技術学会 補助金	1,000,000	6. 招待・接遇関係費	9,400,000
<b>VI 寄付金</b>	<b>11,000,000</b>	7. 運営諸経費	1,500,000
<b>VII その他</b>	<b>500,000</b>	<b>VI 事後処理費</b>	<b>4,900,000</b>
1. 関連会合会場費、備品費等	500,000	事後処理費	900,000
		納税準備金	4,000,000
収入合計	¥104,613,000	支出合計	¥104,613,000

## II. 寄付金募集要項

### ■募金名称

第64回日本核医学会学術総会・第44回日本核医学技術学会総会学術大会  
会長 橋本 順/大会長 森 一晃

### ■募金目標額

11,000,000円

### ■募金の対象先

医学・薬学関係企業他

### ■募金締切

2024年11月6日(水)

### ■寄付金の使途

2024年11月7日(木)～9日(土)の3日間、パシフィコ横浜 会議センター、展示ホールAで開催される、第64回日本核医学会学術総会・第44回日本核医学技術学会総会学術大会の事前準備および当日運営費用に充当します。

### ■寄付金のお申し込み方法

本会ホームページからオンラインでお申し込みください。

<http://www.congre.co.jp/jsnm-jsnmt2024/>

### ■寄付金の払込方法

金融機関：三菱UFJ銀行

支店名：厚木支店(支店コード：707)

口座種別：普通

口座番号：0481336

口座名義：第64回日本核医学会学術総会・第44回日本核医学技術学会総会学術大会  
会長 橋本 順

(加：ダイロクジユウコカニホカクカケカケジ ヌツカケイ・ダ イロジ ヌウコカニホカクカケケジ ヌツカケ  
カケカケケケジ ヌツカケイ カケヨウ バモト ジュウ)

※上記銀行口座は第64回日本核医学会学術総会・第44回日本核医学技術学会総会学術大会共通の  
口座となります。

※口座名義入力文字数に上限がある場合は、上限文字数までご入力をお願いいたします。

※振込が確認されたあと、寄付金受領証明証を送付いたします。寄付金のご入金時に寄付申込が  
ない場合、受領書の発行が遅れる場合がございますのでご注意ください。

### ■税法上の取り扱い

免税措置はございません。

### ■寄付についてのお問合せ/お申込み先

運営事務局

株式会社コングレ佐藤由羽

〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング

E-mail: [jsnm-jsnmt2024@congre.co.jp](mailto:jsnm-jsnmt2024@congre.co.jp)